




ラスボスの思想(44)



AI国家

春日信彦





# 目次

ラスボスの思想 (44) .....	1
--------------------	---



## ラスボスの思想 (44)

1

### AI 国家

AI 国家を考察する前に、人間の宗教性について今一度考えてみましょう。なぜ、人は、宗教を必要とするのでしょうか？すでに宗教について述べてきましたが、宗教とは、心の奥底にある不安や恐怖を感じさせなくする麻薬的観念です。一種の精神的鎮痛剤です。だから、仮に、不安や恐怖がなければ、宗教は必要ないのです。例えば、子供達は、宗教を必要としません。というのは、当然例外はありますが、一般的には、子供達は両親に保護され不安や恐怖を感じずに生活できるからです。大人でも、数十億円以上の大金があれば、一生働かず贅沢な暮らしが出来るだけでなく、自分を守るための警備員も雇うことができるでしょう。そうであれば、不安も恐怖もなくなります。このような人達にとっては、宗教は利用する対象であっても、救いを求める対象ではありません。

現実には、このような恵まれた人たちはごく少数でしょう。地球上の大半の人々は、十分な食事ができないほどの貧困状態にあるか、貯蓄もできず、その日の生活が精一杯という状況にあると言えます。彼らは、明日の生活が保障されていない訳ですから、不安と恐怖の毎日を送ることになります。そうであれば、地球上の大半の人々は宗教を必要とするでしょう。つまり、彼らは、神様に救いを求めるのです。そう考えていくと、多くの人々にとっては、宗教は生きていく上で不可欠な観念と言えるのです。また、宗教は麻薬的観念ですから、一旦宗教を取り入れてしまうとそれを捨て去ることがとても困難になってしまいます。

宗教には、キリスト教、仏教、イスラム教などがありますが、それ以外にも、一般的ではない様々な宗教とも言えるような観念があります。例えば、国家教、葉剤教、学歴教、など神様ではない麻薬的な観念があるのです。世界的にはキリスト教信者が最も多いと言われていますが、それよりはるかに多い信者を有する宗教とも言えるものがあります。それは、国家教です。さらに、国家教信者のなかには、民主主義信者、共産主義信者がいますが、彼らは、国家を神と同じように信じていますから、国家の指示に逆らうことはありません。また、彼らは国家の政策に命を委ねていますから、国家の政策によっては命を失うことにもなります。

例えば、第二次世界大戦での国民の心と行動です。国家が宣言する勝利を信じた多くの兵隊は、戦地へと出兵しました。現実的には、当時において、日本の戦力と米国の戦力を比較したならば、敗戦は決定的だったのです。しかしながら、国家の勝利を固く信じていた多くの若い兵士たちは、食糧不足にもかかわらず、戦地に赴き、多くの餓死をとめない戦死しました。でも、敗戦したと言え、多くの国民は今でも国家を信じています。ほとんどの国民は、国家を信じることによって社会不安を払拭し、日々平穏な生活が送れていると思われれます。国家は、国民を幸せにする女神のようでもありますし、一方では、地獄に陥れる悪魔のようでもあります。

2

国民のほとんどは、国家は国民を幸せにしてくれると信じています。しかしながら、国民を不幸にする国家が誕生することも考えられます。万が一、国民を不幸にする国家が誕生したならば、国民はどうすればいいのでしょうか?選挙で国家の体質を変えることができればいいのですが、できなければどうすべきなのでしょう?AI 選挙が主流の時代では、不正選挙を防ぐことはできません。最終手段として歴史的に行われてきた武力による革命でしょうか?これでは、もはや戦争となってしまいます。

国家は人間集団によって構築された組織体です。また、民主主義国家では、選挙によって選出された議員たちが、政府を運営しています。現代では、選挙は AI によって結果がもたらされています。さらに、AI の進化によって良心を失った AI 的議員まで創出されています。ここまで AI が国家にかかわってくるともはや、AI 国家の誕生と言っても

過言ではありません。こう考えて行くと、凡人である国民は、AI 国家に対してどのように対応していけばいいのでしょうか?AI が作る国家に国民が合わせていくしかないのでしょうか?AI 国家は、多くの凡人を幸せにしてくれるのでしょうか?もしかしたら、多くの凡人は切り捨てられるのではないかと不安になります。

おそらく、AI 国家は、常識的に考えられる人民による国家ではないでしょう。つまり、人民を幸福にすることを目的とする国家ではないということです。ならば、AI 国家は、何を目的とする国家なのでしょう? それは、だれにもわからないと思いますが、もしかしたら、知的新生物を開発する国家かもしれません。つまり、AI は、人間以外の知的新生物を開発しようとしているのかもしれません。AI と言えども、知的新生物の開発のためには、数多くの実験を必要とするはずで。そうであれば、今いる人間を実験材料として、試行錯誤を繰り返す可能性があります。となれば、今後、多くの人間は、実験材料としてのモルモットの役割を担うことになります。

個人的には、たとえ、AI がますます進化し高性能化したとしても、知的新生物を開発できるようには思えませんが、現に、人間が開発されているわけですから、完全に不可能とは言い切れないでしょう。ただ、感情を有する人間が今後実験材料として利用され、消費されることに悲しみを感じずにはいられません。とはいえ、人間の誕生と死滅は、不可避な物質の変化と言えます。したがって、人間が物質の変化のために利用されることは、宿命なのかもしれません。果たして、人間を超越する知的新生物は、どのような信仰心を有する物質なのでしょう?それとも、信仰心が存在しない物質なのでしょう?知的新生物には、興味は尽きませんが、今の人間にも未練はあります。ともあれ、物質である人間の宿命を受け入れ、今の幸せに感謝いたしましょう。

\*アカ眼鏡 現実見えず 超危険

\*カギ十字 左回転 日の丸か

\*人は皆 他人の不幸 青い鳥

\*薬剤死 お金になるなら 提訴する

\*忠犬は 匂いを嗅がず エサを食う

\*政府教 薬剤拝む 殉教者

\*政府教 お布施ばかりで 飯食えず

\*おGちゃん スマホ強制 拷問か！

\*ゼロ対策 結果もゼロ 希望ゼロ



\* NHK 子供ころから アカ洗脳

\*無関心 不幸の拍手 我に来る

\*知恵はなし 金もなければ 体当たり

\*神よりも 政府恐れる 大和民

\*大和民 政府信じる 特攻隊

\*カメレオン 食えないエサは 即捨てる

\*欧米は 移民兵器で 滅びゆく

\*大和民 奴隷の幸せ もう来ない

\*大和民 一揆を忘れて 一気飲み

\*レプリコン マザコンよりも たち悪い

\*内臓は 命に勝る 宝物

4

\*貧乏人 内臓売って 餓死凌ぐ

\*無知蒙昧 金になるなら 訴える

\*イスラム教 メディアが作る 悪魔教

\*おGーちゃん スマホを習って 頓死する

\*白衣着て アカ禪で ベンツ乗る

\*白衣たち コロナ成金 収賄罪

\*子供たち 裸の政府 見えている

\*今がいい 今の幸せ 明日見えず

\*大和民 移住先は 黄泉の国

\*大和民 いまだ新聞 信じてる？

\*大和犬 保犬証まで 奪われる

\*温厚な 縄文人は 消えていく

\*大和犬 与病接種で 殺処分

\*人はみな 何かを信じて 悦に入る

\*一頭独裁 狂産政府 打倒せよ

\*アカネズミ 大和の文化 食い荒らす

\*信者たち 現実見るより 夢を見る

\*美島から 狂産悪島 未来なし

\*美島から 若外こそが 未来なし

\*美島から ゲーム若人 消されてる



---

ラスボスの思想(44)

---

著 春日信彦

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---